



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第54巻第
10号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第54巻第10号). 泌尿器科紀要 2008, 54(10): 702-702

ISSUE DATE:

2008-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/71743>

RIGHT:

3. 論文の採否: 論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される。ただし、シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する。
4. 論文の訂正: 査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文: 論文が採択された場合、原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し、編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎、また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし、特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正: 校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載: 論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)、超過頁は1頁につき7,350円(税込)、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)、6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
8. 著作権: 当誌に掲載する著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへのとりこみ及び送信等の権利は、泌尿器科紀要刊行会に帰属するものとする。
9. 別刷: 30部までは無料とし、それを超える部数については実費負担とする。著者校正時に部数を指定する。

編 集 後 記

第9回アジア泌尿器科学会（ACU）出席のためにインドのデリーを訪れている。インドは中国、日本に次いでアジアで3番目に泌尿器科医の多い国である。したがって参加人数が多く、これまでのACUのなかで最もにぎやかな学会となっているようだ。特に体腔鏡を初めとするエンドウロロジーの領域では最先端の技術が導入されており、質の高い発表が行われていた。

そのいっぽうで、タージ・マハールへの観光を通して11億という膨大な人口を持つこの国の陰の部分も実感できた。タージ・マハールはデリーから230キロ離れたアグラという町に建造されており、片道5時間（往復10時間）かけて観光用の車で移動した。大理石のタージ・マハールは白く美しく輝いていたが、車窓から見たインドは40～50年以上前の日本のように思われた。案内役の Gupta さんは「インドでは義務教育制度が無く、半数以上の国民が文字の読み書きが出来ない。医療体制も整っておらず、多くの人が医師にかかることすら出来ない。」と教えてくれた。彼は独力で日本語をマスターしたという親日家で、冗談を交えながらインドとインド人について楽しく解説してくれた。インド宗教では、カルマ（業）と輪廻という考え方があり、行った行為（カルマ）に従って魂は色々な形で生まれ変わる（輪廻する）のだという。Gupta さんの「先生は日本人に生まれてきて本当に良かったですね。」という言葉が印象的だった。最近、日本の悪い面ばかりを感じてきた私にとって、思いがけず新鮮な言葉であったし、「幸せ」の意味をあらためて考えさせられた。あと2日インド滞在が残っているが、お腹をこわさずに帰りたい（普通の海外旅行ではお腹をこわさないことはあたりまえなのだが、インドからおなかをこわさずに帰れることは幸せなことである。).

(小川 修)